



「portrait」 佐直和春 (有佐直写真館 (山形))

■ 選評

斬新なアングルと独特なフォルムで表現された新しい感覚の女性ポートレートです。一般的に斜俯瞰で女性を撮るケースはありますが、この作品はほぼ真上に近いカメラアングルで撮影されており、ここまで俯瞰で狙うのはあまり見たことがなく、新しい挑戦だといえます。通常の高さの天井からの撮影だと、画面に歪みが生じますが、この写真にはそれがありません。撮影データによると、中判デジタルカメラが使用されていて、中判フォーマットレンズの特性を生かし、歪みのないところで撮影しています。身体をねじりながらのポーズと腕の扱いで逆三角形の構図とし、不安定な中で女性の美しさを表現した作品です。

■ 喜びの声

このたびは栄えある銅賞！

常に目標にしている富士フィルム営業写真コンテストでの上位入賞！しかも連続で！そして帝国ホテルに行けることは心からうれしく思っております！

お客様をはじめほんとうにたくさんの方から祝福の声をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

お客様を撮影する上でその人の持っている雰囲気はどう表現するか、を常に意識して撮影しています。

今回の写真は、俯瞰の撮影で全身をうまくまとめることができるのか。女性の綺麗な身体のラインを出せるか。という課題を自分に出して撮影した写真です。

光は顔から爪先まで、しっかりと当てることを意識し、彼女の持つ雰囲気を出したつもりです。

新しい表現にも常に挑戦しつつ、お客様の持っている雰囲気を大切にし、お客様が世代を超えて大切にしてもらえるしっかりとした写真を撮っていただけるように今後も勉強していきたい

と思っています。

最後に、私にとって師匠・諸先輩・全国の写真仲間の影響はとても大きなもので感謝の気持ちでいっぱいです。

今の自分をここまで導いてくれた師匠である瀬尾太一先生、そして、いつも最高のプリントをしてくれるアオバさん。そのほかたくさん、言い尽くせない方々にお世話になっています。全ての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

(制作ラボ：㈱アオバカラー)





「美しい妊婦」 久保田 豪 スタジオジュノ (群馬)

■ 選評

マタニティーの写真ですが、スタジオの中で小物など余分なものを一切使用せず、真横からダイレクトに、かつモノトーンの雰囲気の中でシンプルに妊婦の美しさを表現しています。カメラマンがこのお客様をよく観察し、最も美しいラインを見極め、綺麗なフォルムで被写体の良さを引き出しています。故意に頭をカットしていますが、これも身体のラインの美しさに目が行くようにしています。ただ、顔にも少しの光を入れて、これから生まれてくる赤ちゃんに思いを寄せる柔和な表情を引き出しており、そのバランスが素晴らしいといえます。下のスリット、そして手も程よく描写され画面に変化を付けると同時に安定感も生み出しています。

■ 喜びの声

このたびは、栄誉ある富士フィルム営業写真コンテストにおいて銅賞をいただくことができ、大変うれしく思います。

私は写真の学校へ行ったこともなく、修業に行ったこともなく、約8年勤めた会社を辞め家業である写真屋を継ぎました。それからは業界の諸先輩や仲間たちに出会いたくさんのことを教えていただき、そのおかげで今の自分があると思っています。また、普段ご利用くださるお客様、綺麗な色に仕上げてくださるプロカラーラボの皆様、そしていつも支えてくれる妻のおかげでこのような素晴らしい賞を取ることができました。皆様には深く感謝しております。

このモデルさんは、今回当初初めてのご利用のお客様で、最初の第一印象は夫婦二人ともスタイルが良く美男美女。まずはこのお二人の魅力を最大限に引き出したいと意欲に燃えたことを覚えています。撮った写真はすぐにスタジオのモニターで確認できるため、ご夫婦二人

と妻と私の4人で撮影しては確認するのを繰り返していくうちに、どんどんみんな盛り上がり、楽しみながら撮影することができました。また、お客様の「今の自分の姿を写真に残しておきたい」という前向きな姿勢とセンスは今回受賞することができた大きな要因だと思います。

これからも全てに感謝しながら、楽しみながら、お客様に喜んでいただける写真を届けていきたいと思っています。

(制作ラボ：㈱プロカラーラボ イーストラボ)





「おてんばちゃん」 大井 大 フォトグラフィックオオイ (神奈川)

■ 選評

七五三の写真ですが、着物の色を見て背景を決めたようで、カラーバランスが素晴らしいといえます。光も綺麗ですし、可愛い仕草の瞬間を見事に切り取っています。ぼんそうこうがこの写真の特徴ですが、故意に目立つようにして、タイトル通りの「おてんば」を表現したのだと思います。ぼんそうこうというのは、撮影者にとってネガティブな素材ですが、元気でこうしたポーズをしたことでプラス素材に転化できたのかなと思います。顔の前に紐が来るなどは、本来ならNGともいえますが、それを上回って、一連の流れでこの可愛い瞬間を捉えたカメラマンの高い感性が素晴らしいといえます。

■ 喜びの声

このたびは、歴史ある富士フィルム営業写真コンテストにおいて銅賞をいただき、大変光栄に思っております。

これもひとえに、日頃から惜しみないご指導をしてくださる全国の先生、諸先輩方、共に学んでいる仲間のおかげです。

感謝申し上げます。

この作品はまず、まぶたに大きなぼんそうこうを貼ってやってきたクルクルとよく動くこの子の、そのままを残してあげたいと思い撮影に入りました。3歳ならではの手の表情、よく動く瞳、そしておばあちゃまもお召しになったというこのお着物の風合いを大切にしながら、瞬間を切り取らせていただきました。

構えることなく自然体で臨んでくださるお客様あっての作品だと思っております。

そして、いつも私の細かい要望に二つ返事で応えていただけるプロカラーラボさんに感謝申し上げます。

最後になりましたが、いつも120%の気持ちでお客様と向き合ってくれる最高のパートナーに『ありがとう』と伝えます。

『一生勉強!!』そう思い精進していきたいと思っております。

ありがとうございました。

(制作ラボ:㈱プロカラーラボ イーストラボ)





「12日目のプリンセス」 中村岳雄 ワイルドベリーフォト（長野）

■ 選評

ニューボーン写真ですが、種々の装飾品で飾らずに、シンプルに直球勝負で写した写真です。こうした写真では、赤ちゃんの巻き方が難しく、こんなに綺麗な球体にする、または手を顎の下に持っていくことも含めて、赤ちゃんの扱いを知り尽くしていないとできません。撮影技術だけでなく、赤ちゃんが嫌がらない、楽な姿勢にしつつ、ここまで持ってくるのは至難の業といえ、作者の技術力の高さが見えます。また、赤ちゃんでは表現しにくい鼻の高さまでも描写している立体的なライティング、そして明るいところからシャドウまで階調を整えながらニューボーンを撮ることは難しいもので、ここでも作者の技量の高さが発揮されています。

■ 喜びの声

このたびは栄えある銅賞をいただきありがとうございます。

伝統ある富士フィルム営業写真コンテストでの上位入賞は、私たちがフォトスタジオを開業した頃からの憧れでした。そして、挑戦し始めて3年。憧れが目標に変わり、ようやくここまでたどり着くことができました。

受賞作は光、ポーズ、表情、アングルなど丁寧に作り込んで撮影しました。このように評価いただき本当にうれしいです。

ニューボーンフォトはアシスタントである妻との合作です。とてもデリケートな分野で、常に高い緊張感の中での撮影が強いられます。このたびの受賞は夫婦にとって、これまでの労苦が報われた想いです。

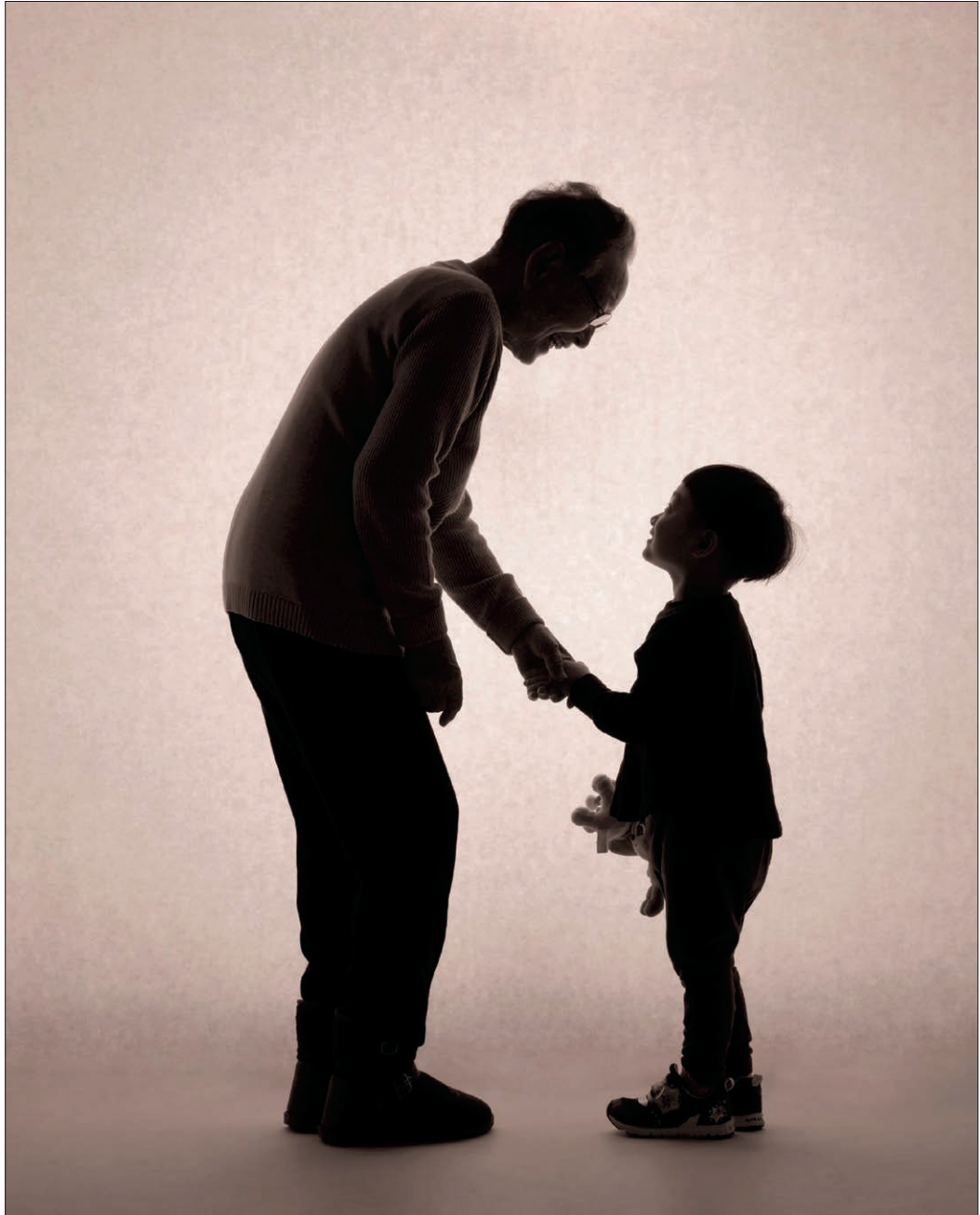
また、私たちの作品に共感し、大切な撮影をご依頼いただくお客様をはじめ、多くの方に支えていただきながらここまで続けていくことができました。本当に感謝しかありません。

ニューボーンフォトの日本国内での認知度は、徐々に広がりを見せているものの、まだまだ高くないと感じています。ご出産の喜びと感動を、美しい作品として残していただけるよう、今後も普及に向けて頑張っていきたいと思えます。また撮影をお任せいただくお客様には、感動の作品をお届けできるよう、ますます精進してまいります。

重ね重ね、このたびはありがとうございました。

（制作ラボ：富士フィルムイメージングシステムズ㈱）





「Precious time」 島瀬 航 シマセ写真館 (富山)

■ 選評

白バックで、後ろから光を当ててシルエットにしていることによって2人の愛情がストレートに伝わってくる微笑ましい写真です。自然光が入る窓がないとシルエットが撮れないわけではなく、やり方次第で自分のイメージを膨らませば、スタジオでもこうした写真が撮れる、言い換えればカメラマンの「スタジオ魂」が感じ取れる1枚です。モノトーンですが、セピア調にしていることで柔らかい雰囲気と温かさを感じさせます。ご年配の方によく見られる姿勢で愛情たっぷりの笑顔でお孫さんと手をつなぎ、お孫さんもそれを笑顔で返して、声が聞こえてきそうな微笑ましい写真に仕上げられています。

■ 喜びの声

このたびは荣誉ある富士フィルム営業写真コンテストで銅賞をいただき誠にありがとうございます。コンテストを開催して下さった富士フィルム様に心より感謝しております。お選びいただきましたお写真に写っているお客様は私の父母の代から長年お世話になるお客様です。時を超えておばあちゃんとひ孫さんが共に過ごす時と関わる家族みんなの存在をお二人のシルエットで表現いたしました。今回選ばれましたお写真のご家族皆様、これまでお世話になりました全てのお客様に心より感謝いたします。

また今日に至るまでご指導くださいました講師の先生、共に学ぶ風雲の会の皆様、切磋琢磨するPGCの仲間、刺激ある富山県写真館青年部の仲間、フジカラー北陸様、お世話になります弊社皆様に感謝申し上げます。また風雲の会の柴田総長、風の会の先生方のおかげで今

日の私が存在しております。心より感謝申し上げます。そして修業時代から我が子のように向き合ってくれる根岸眞一郎先生、眞二郎さん、ネギシファミリーには感謝してもきれません。

これからも「人生の豊かさ」をテーマに「お客様と向き合う時」を大切にまいります。

最後に最愛なる妻と子供たちに感謝！！ありがとうございます！！

(制作ラボ：㈱フジカラー北陸)





「Cute」 松山真彦 松山写真(株) (静岡)

■ 選評

「可愛い」の一言に尽きる写真です。背景の使い方が絶妙で、女の子の身体の傾き具合と、その傾きの方向に花模様の立体バックを配置したこと、そして白一色の中でもメリハリのあるライティングとしたことでバランスの良い作品に仕上げられています。オリジナリティーがあり、品の良さも感じますし、この子の気持ちが花模様になって飛んでいるような、アニメのような効果もあり、その演出のうまさを感じます。ややもすると、顔が隠れてしまうことを意識して、このままでは撮らない、つまり、ほっぺから手を離れた状態での笑顔を狙いがちですが、この写真では、自然な可愛い笑顔をそのまま切り取ったところに作者の力量を感じます。

■ 喜びの声

私にとって富士フィルム営業写真コンテストは、昭和58年に父が金賞を受賞して以来、特別な思い出があります。そしてこのたび銅賞をいただき、私自身にとって4回連続5度目の上位入賞となりました。ありがとうございました。気がつけば当コンテストの入賞を写真家としてのモチベーションに20年間応募を続け、それを通じて多くの方々と出会い、学び、私の写真人生豊かなものとなりました。そしてこれからも当コンテストが私たち営業写真家の目標であり続けてほしいと思います。

大切なお客様はじめ、日頃私を支えてくださる業界の先生方や先輩方、スタッフや家族、(株)プロカラーラボの皆さんに改めて感謝申し上げます。また、直近4回の上位入賞作品は全て国産ストロボメーカー コメット (株) のDm-360 2灯 (現在はその後継機種があります) によるライティングであることを付け加えさせていただきます。

写真は、七五三3歳のお祝いの1枚です。お子さまのかわいらしい仕草や表情、この時期

にしかない魅力をうまく引き出すことができたと思います。下の妹さんともども優しさをそのままに、これからの成長をスタッフ一同楽しみにしております。

私たちの仕事は人々の「笑顔」を扱っています。誰ひとり取り残さず、みんなの笑顔で地域を元気に！そして、みんなの笑顔で世の中に平和を！そう信じて、街の写真館がその一翼を担うことができると願います。

(制作ラボ：(株)プロカラーラボ)





「パパは大黒柱」 佐々木運真 アトリエささき (愛知)

■選評

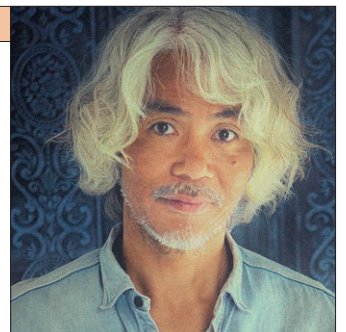
楽しい家族写真です。撮影のセットだと思いますが、この中に子どもが入るだけでも楽しくなると思います。カメラマン側が誘導しなくても楽しい気分になりますし、おそらく「さあ、みんなで入ってみようか」といった感覚でこのご家族に合わせて撮影したと思われます。つまり、カメラマンが常に持っているポーズの引き出しではなく、その場の雰囲気、型に当てはめない構成としているように思われ、作者の高い感性が感じられます。1人のお子さんだけ笑っていませんが、これも無理に笑わせることなく、その子を尊重し、自然なままに表現している点も素晴らしいといえます。この四角の中にギュッと凝縮された家族の幸せを感じる写真です。

■喜びの声

このたびは帝国ホテル行きの銅賞をいただきまして、誠にありがとうございます。今回は、毎年撮影に来てくださるご家族の10年目の家族写真です。そんな関係性の深いお客様の写真、得意とする家族写真での受賞ということで、今まで以上にうれしいです。日頃から家族の撮影は被写体となる家族を観察して、感じて、想像して、ひらめきを待つことだと思っています。なので、撮影前はなるべくイメージせず、その時に感じたままをライブのような感覚で撮るのが理想の形です。よく撮れた写真ほど何かに撮らされた気がしていて、この写真もご家族の素敵なキャラクターに撮らされた写真となりました。好きな言葉「我が業は我が成すにあらず、我が業は神の成す技」被写体の家族から伝わるものに比べたら、自分の業なんてちっぽけなもの。その時の夢中に比べたら自分の努力なんてちっぽけなもの。こんなことを忘れないように、今回の受賞で再確認させていただきました。そして、私には学びの場があります。そこで仲間から楽しさと刺激をもらい、主宰の福森さんには長きにわたり育

ていただきました。この場所がなければきっといつまでも独りよがりの写真を撮っていたことでしょう。この場をお借りして感謝申し上げます。福森塾で学ぶ後輩たちへ、この場に来たからにはもう大丈夫です。帝国ホテルで味わう幸せを次はあなたが感じてください。すぐに結果が出なくても自分のペースで、諦めずしつこく。先輩が力を貸してくれます。福森さんが導いてくれます。お互いに頑張りましょう。

(制作ラボ: オオタラボ)





「出発点」 富田啓介 studioTVB 神戸店（兵庫）

■ 選評

新しさを感じる婚礼写真です。こうしたバック紙での写真は、若い方々の中には古くさいと思ってしまうこともありますが、この写真ではそうした古さは感じさせず、むしろ新しい表現を感じさせる衝撃的な1枚といえます。通常、こうした写真では横並びで撮るのが一般的ですが、あえて前後で配置し、しかも広い水平線なのか上下の余白も充分すぎるほど取っています。これだけ白を広く取ると、無駄な空間に捉えられそうですが、この写真では余白の美しさを感じられます。そして花嫁は笑顔なのですが、結婚に対する喜びとともに前後で配置したためか緊張感も感じられます。カメラマンのアイデア、発想が素晴らしい1枚です。

■ 喜びの声

富士フイルム営業写真コンテストの銅賞をいただきありがとうございます。事前にお二人とは打ち合わせをし、写真とは関係ない話もし、撮影前にすでに良い関係を築けていたと思います。仕上がった写真をご家族にも見ていただいて、喜んでほしいという新郎様と新婦様の思いをなんとか写真という形で表現したいと思い撮影に進んでいきました。和装でのスタジオ撮影ですが、カジュアルで楽しそうな写真を残せました。その他に何か結婚の始まりを象徴するような1枚が撮りたいと思いこの1枚を撮影しました。この写真を撮影している際、実際に新郎

様が感極まって泣いてしまったことを今でも思い出します。そんな思い出のあるこの1枚で銅賞をいただけたことに感謝の思いです。今後もフォトグラファーとして、写真を通して人に喜んでもらえる撮影が続けていけるよう常に努力を続けていきたいと思っています。

（制作ラボ：㈱ラボネットワーク）





「Sou & Fumi」 塩屋大輔 Shioya Photo Studio (鹿児島)

■ 選評

こうしたカメラ目線の写真は、バックが自然なのかスタジオなのかの違いだけで、同じようなポーズが多い中、この写真では木を利用した舞台と、緑の背景の奥行き感、そしてお兄ちゃんの動きで、スタジオにはないロケーション特有の雰囲気を作り上げています。この場所の選定と、木が左上に伸びていく構図、そしてあたかもスタジオでライティングしているかのような光が顔に当たり、とても基礎力の高いカメラマンの撮影であることがわかります。ランドセル等の配置で、ご兄妹の入園・入学の写真であることも分かり、2人の笑顔でその喜びが伝わってきます。

■ 喜びの声

このたびは、栄誉ある富士フィルム営業写真コンテストで銅賞をいただき誠にありがとうございます。願っていた二度目の上位三賞。

営業していた町を離れ、新たに隣町で営業を始めて2年。上位入賞できたのも、お店に足を運んでくださる大切なお客様、一番近くで支えてくれている家族、福森先生をはじめとするふくもり塾の皆さん、PGC、FPGのメンバー、新しくお店をオープンするにあたって支えてくださった仲間たち、その他自分に携わってくださっている先生方、先輩方、仲間たち全ての方のおかげです。

心から感謝申し上げたいと思います。

今回の写真のお客様は、隣町にきて撮影させていただくようになったお客様で、元気でおちょこちよいのお兄ちゃん、しっかりもので笑顔のかわいい妹ちゃんのそれぞれの入学入園記念を撮らせていただいたお客様です。二人のお子様の雰囲気をみながら、二人らしい写真

が撮りたいと考えていたら、一本の素敵な木を見つけ、そこで楽しく遊んでいる二人の姿が浮かびました。撮影している時に一瞬きつい太陽光が雲に隠れ、綺麗な光が注ぎ無我夢中でシャッターを切った時の1枚です。

お客様一人ひとりと向き合い、お客様の記憶に残る大切な瞬間の写真が残せるように日々努力を重ねたいです。

これからも名誉ある賞に恥じぬよう頑張っていきたいと思います。

(制作ラボ：オオタラボ)





表紙



1

2



3

4



5

6



7

8



9

10



11

12



13

14



15

16



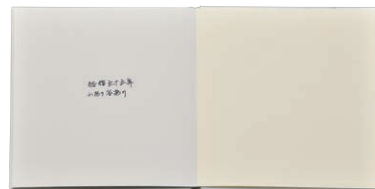
17

18



19

20



21

22

「写真で残した日」 合代潤心 (株)デコルテ スタジオ SUNS (沖縄) アルバム

選評

ある程度年齢を重ねると、自分史のようなものを作りたいという願望が出てくるのですが、それを写真で、しかも過去の写真ではなく現在の姿で子どもたち、孫に残していくという新しい視点のアルバムといえ、カメラマンの確かな「目」と技術力の高さが見える作品に仕上げられています。ヘアメイクから入って進んでいくストーリー性、そして、ドレスを着てみたいというご本人の希望を入れながら、さらに、かなわなかった夢をかなえるといった意味があるのかもしれませんが、本人の意志がこのアルバムから感じ取れます。そして技術的に、全体を明るいトーンで仕上げているところにも、カメラマンの配慮が感じられます。

喜びの声

このたびは栄えある富士フィルム営業写真コンテストの賞を頂戴し誠に光栄です。生んで育ててくれた両親、家族、はくの人生に関わる全ての人に感謝申し上げます。前回は娘が誕生したときのアルバムでの入選、今回は祖母の結婚55周年の記念に撮った写真で賞をいただきました。「家族にまつわる人生の写真」自分自身一番好きなジャンルでの写真が評価されたこと、今回の結果を祖母に直接報告ができたことが大変うれしく思います。コンテストのためではなく、家族のために残した写真が評価されたことがとてもうれしいです。完璧を求めず、普段生活している場所、長く生活している場所での特別な時間。作り込んだ物ではなく、24時間のうちの少しの非日常だからこそ緩急のある写真になったのかもしれない。4年前と今の祖母の時間の流れ方が変わったからこそ、どんな日でも写真を残せば大切な日

になるのだと実感しています。写真は経年変化を楽しむモノだと思っておりました。その日よりも、時間が経てばよりよいモノになるのだと確信しました。いろんな素敵な写真があるこの世の中で、自分が思う「好きなモノ」「良いと思うモノ」を残す大切さを改めて感じ、自信に変わりました。素敵な所に連れてきてくれてありがとうございます。(制作ラボ：(株)ラボネットワーク)

